

水原商工会 景況調査報告書

組織番号 012

商工会名 水原商工会

報告者名 前田 勝夫

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 水原商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

令和元年7月～令和元年12月
(調査時点 令和元年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	2	6.7%	2	6.7%
建設業	6	20.0%	6	20.0%
卸・小売業	11	36.7%	11	36.7%
サービス業	11	36.7%	11	36.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%

(5) 阿賀野市水原地区の商工業の構成状況 (平成31年4月現在)

阿賀野市水原地区の商工業者数は、834社(うち小規模事業者数は735社)となっています。

業種別では、製造業が64社(7.75%)、建設業が192社(23.0%)、卸・小売業が265社(31.8%)、サービス業(飲食・宿泊業含む)が288社(34.53%)・その他25社(3.0%)の構成となっています。

この度、4商工会合同景況調査を実施するにあたり、水原地区は小規模事業者等のおよそ3.6%にあたる30社の企業の方々からご協力をいただき実施したものです。

(注) 小規模事業者とは ⇒従業員が20人以下(商業・サービス業では5人以下)の事業者

2. 地域内産業全体の景況概要

前期比では「増加」「好転」の回答が若干ですが増えており景気回復の兆しを見せましたが、今後の見通しでは「減少」「悪化」が増えており、景気感が厳しくなることが推察されます。特に卸・小売業とサービス業では、消費増税の影響を伺わせる回答が多くありました。

経営上の問題点では、「需要の停滞」が最も多く、続いて「仕入単価の上昇」「受注・販売競争の激化」の順となっています。

【後継者の状況】

後継者「なし」は5割となっており、製造業を除いては、将来の事業承継に不安を抱える事業所が増えています。

後継者 あり	15事業所	50.0%
後継者 なし	15事業所	50.0%

【売上高】

前年同期比では「減少」が最も多い回答でしたが、前期比では「増加」が増え、特に卸・小売業では7割が「増加」と回答しており、消費増税前の駆け込み需要によるものと推察されます。今後の見通しでは全ての業種で「減少」が多く、見通しが厳しい状況であることが伺えます。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
8	8	14	12	5	13	4	10	16
26.6%	26.7%	46.7%	39.9%	16.7%	43.4%	13.3%	33.3%	53.4%

【採算】

前年同期比では「不変」と「悪化」の回答が8割を占めていますが、前期比は「好転」した事業所が増え景気回復の兆しがありました。今後の見通しでは「悪化」の回答が増え、厳しい状況が伺えます。今後の見通しで「好転」と回答した業種は卸・小売業のみでした。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
6	12	12	9	10	11	3	11	16
20.0%	40.0%	40.0%	29.9%	33.3%	36.8%	10.0%	36.7%	53.3%

【仕入単価】

前年同期比、前期比、今後の見通しとも全業種で「上昇」が5割を超えており、採算面に影響する仕入単価の厳しさが伺えます。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
19	9	2	18	10	2	16	11	3
63.3%	30.0%	6.7%	59.9%	33.3%	6.8%	53.3%	36.7%	10.0%

【販売（客）単価】

前年同期比、前期比では「不変」が最も多く、客単価に大きな変化はありませんでした。しかし、今後の見通しでは「低下」が増えており、価格競争が激しくなることが伺えます。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
0	23	7	2	19	9	1	16	13
0.0%	76.7%	23.3%	6.6%	63.3%	30.1%	3.3%	53.4%	43.3%

【資金繰り】

前年同期比、前期比とも「不変」が約5割強を占めており大きな変化はありませんでした。しかし、今後の見通しでは「悪化」が増えており厳しさが伺えます。「好転」と回答した業種は卸・小売業のみでした。

前年同期比

好転	不変	悪化
3	17	10
10.0%	56.7%	33.3%

前期比

好転	不変	悪化
4	16	10
13.2%	53.4%	33.4%

今後の見通し

好転	不変	悪化
2	15	13
6.7%	50.0%	43.3%

【雇用動向】

前年同期比、前期比、今後の見通しとも「不変」が7割から8割を占めており、雇用動向に関してはあまり変わらない現状が伺えます。従業員数が少ない小規模企業の実態を反映しています。

前年同期比

増加	不変	減少
2	22	6
6.7%	73.3%	20.0%

前期比

増加	不変	減少
2	22	6
6.6%	73.4%	20.0%

今後の見通し

増加	不変	減少
1	25	4
3.3%	83.4%	13.3%

【景況判断】

前年同期比、前期比、今後の見通しとも「不変」と「悪化」が9割以上を占めており、厳しい景況感を反映しています。業種別にみると製造業、卸・小売業の一部で「好転」と回答しておりますが、全体的には「悪化」の事業所が増えており、景況感が厳しくなることが伺えます。

前年同期比

好転	不変	悪化
1	16	13
3.3%	53.4%	43.3%

前期比

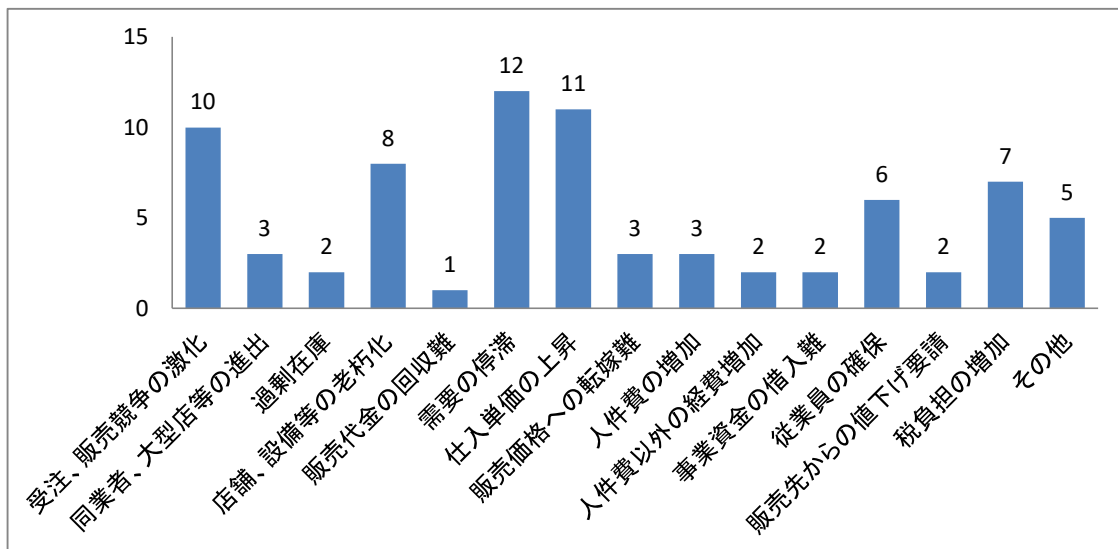
好転	不変	悪化
2	16	12
6.6%	53.4%	40.0%

今後の見通し

好転	不変	悪化
3	11	16
10.0%	36.7%	53.3%

【経営上の問題点】

「需要の停滞」「仕入単価の上昇」「受注・販売競争の激化」の順となっており、卸・小売業とサービス業で「需要の停滞」と回答した事業所が多く消費増税の影響が伺えます。「店舗、設備等の老朽化」は、卸・小売業とサービス業が回答しており、後継者難も含め新たな設備投資に踏み込めない現状が推察されます。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

製造業の調査数は少ない中ではありますが、売上高、採算、仕入単価、販売単価、資金繰りとも「不変」「減少」「低下」と回答しており、特に今後の見通しでは、景況感が見通せない現況となっています。

また、今後の見通しの景況判断については「好転」と「悪化」が2分しています。

経営上の問題点は、「販売価格の転換難」「税負担の増加」などを挙げています。

また、今後強化したい点としては、現状を打開するための「販路開拓」を挙げています。

(2) 建設業

建設業では、前年同期比、前期比とも大きな変化はありませんでしたが、今後の見通しでは「不変」「悪化」「減少」と回答しています。景況判断も「悪化」と回答した事業所が増えており、今後厳しくなることが伺えます。

経営上の問題点では、グローバル化・人材確不足の影響から「受注、販売競争の激化」「人件費の増加」「従業員の確保」が同数の回答となっています。

また、今後強化したい点についても「人材育成」「人材確保」を挙げています。

(3) 卸・小売業

卸・小売業では、前期比で「好転」「増加」の回答が増えており、景気回復の兆しもありましたが、今後の見通しでは「不変」「悪化」「減少」が増え、厳しい景況感が伺えます。

景況判断では「好転」と回答した事業所も若干増えています。

経営上の問題点では「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」が最も多く、後継者難を背景に設備投資に踏み切れない厳しい現状が反映されています。

また、今後強化したい点としては「店舗改装」「販路開拓」を挙げています。

(4) サービス業

サービス業では、前年同期比、前期比で、ほぼ同じ回答でした。今後の見通しでは売上が「増加」と答えた事業所は1割であり、他の項目は「好転」「増加」の回答は無く、見通しはかなり厳しいと判断されます。

景況判断も6割強が「悪化」と回答しています。

経営上の問題点では「需要の停滞」が最も多く、次に「受注、販売競争の激化」「仕入単価の上昇」となっています。

今後強化したい点については、「新規顧客の獲得」「販路開拓」を挙げており、人口減少による売上減少傾向を懸念する回答が多くありました。

(様式-1)

景況調査ヒアリングシート (令和元年度)

調査対象期間 令和元年7月～12月

(調査時点 令和元年12月1日)

調査日：令和元年12月____日

商工会名	商工会	担当職員名	
企業の概要	業種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(H30年7～12月) と比較して	前期(H31年1月～6月) と比較して	今期(R1年7～12月)と 比較した来期(R2年1～6月) の見通し
売上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資金繰り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇用動向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景況判断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

1. 受注、販売競争の激化
2. 同業者、大型店等の進出
3. 過剰在庫
4. 店舗、設備等の老朽化
5. 販売代金の回収難
6. 需要の停滞
7. 仕入単価の上昇
8. 販売価格への転嫁難
9. 人件費の増加
10. 人件費以外の経費増加
11. 事業資金の借入難
12. 従業員の確保
13. 販売先からの値下げ要請
14. 税負担の増加
15. その他(_____)

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--